



ルーテル 藤が丘だより

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 牧師 佐藤和宏
tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp
発行 月報編集委員会 発行日 2018年5月6日 No. 48



先月の献花より。

愛する者たち、互いに愛し合いま
しょう。愛は神から出るもので、
愛する者は皆、神から生まれ、神
を知っているからです。

ヨハネの手紙一 4章7節



シリーズ説教

『誠実な愛』

牧師 佐藤和宏

ヨハネ15章1節〜10節

第二の朗読で、お読みいただいたヨハネの手紙一3章18節は「行いをもって誠実に愛し合おう」と言っていますから、自分たち人間の信仰的な熱心さや誠実な態度を求められているように聞こえます。しかし「誠実」と訳されているギリシャ語は、「アルファ」と「ランサノー」という2つのギリシャ語の合成動詞から派生した言葉になります。それは「初めから隠されていたもの」、「初めから知らずにいたもの」となるのです。ですから「誠実」とは、私たちの態度や思いといった私たちのうちから起こってくるようなものではなく、私たちの外にあって「初めから隠されていたもの」であると思われるのです。「初めから」あり、私たちに「隠されておられ」、私たちが「知らずにいた」もの、それこそここで言われている「誠実」であり、それは神の愛にほかならないのです。そして、今や知ら

れるようになった主イエス・キリスト、この方なのです。

直前の17節に目を向けると次のようにあります。「聖書略」。注目したのは、ここで「神の愛がとどまるでしょう」と言われている、「とどまる」と訳されている言葉です。これは福音の日課で「つながる」「とどまる」と訳されていた同じギリシャ語になるのです。つまり持つ者が持たない者、力ある者が力を失っている者に心を寄せる人に、神の愛はとどまるのです。その人の内にとどまる神の愛のゆえに、その人は誰かに愛を注ぐことができるのです。これが主につながって実を結ぶと言われていることにちがいません。

今日の説教の準備をしていたとき、このヨハネの手紙を読んで、私はピーナッツというアメリカの4コマ漫画の一つを思い出しました。それは次のように展開しています。場面1 ある寒さの厳しい冬の公園のベンチに、ビーグル犬のスヌーピーがガタガタと震えながら、座っています。場面2 ふと目をやると、暖かそうなコートや手袋、マフラー、頭にはふかふかの帽子を着けたチャー

リー・ブラウンが近づいてくるのが見えました。それをみたスヌーピーは、喜ぶのです。場面3 スヌーピーの近くまで来たチャーリー・ブラウンはスヌーピーに気がついて声をかけます。「やあ、寒くないかい?」と。そしてそのまま通り過ぎて行ってしまうのです。場面4 あとに残されたスヌーピーは、がっかりとした表情をしているというオチになります。着る服もなく、寒さでスヌーピーが震えています。これに対して、チャーリー・ブラウンは完全防寒とも言えるような暖かそうな格好をしています。チャーリー・ブラウンは持っているものであり、スヌーピーは必要な物に事欠いているのです。そのため、スヌーピーを見て同情しない者があれば、どうして神の愛がそのような者の内にとどまるでしょう。

そしてそれを受けて今日の日課が続いているのです。チャーリー・ブラウンがスヌーピーに対して「行いをもって誠実に愛する」ならば、帽子でも手袋でもあるいはマフラーでも貸し与えるということにつながるでしょう。しかし彼は寒さに凍えるスヌーピーを見ると、「寒くないか

い?」と声をかけただけで、通り過ぎてしまうのです。これが「言葉や口先だけではなく」と言われていることにほかなりません。しかし私たちは、チャーリー・ブラウンを非難することはできないでしょう。私たちは「行いをもって誠実に愛する」どころか、「言葉や口先で」さえ、愛せずにいることがあるからです。寒さで震えているスヌーピーのような人々を見かけても、見て見ぬ振りをしてやり過ごす、そのような態度をとってしまう私たちがいるのです。そのようなことがある私たちに、どうして神の愛がとどまるでしょうか。しかし、聖書が告げる福音は、神の愛はそれでも私たちのうちにとどまるといふことなのです。これこそ、神の誠実な愛なのです。この神の誠実な愛である、主イエス・キリストが、十字架の上で死を遂げられ、私たちをご自身のものとされるほど私たちがのうちにとどまる愛なのです。こうして初めから隠されていた神の誠実な愛、主イエス・キリストによって、私たち教会の群れもまた、すべての人々を誠実に愛して生きるのです。(復活後第4主日)

2018年、藤が丘教会では東
教区より支援を受けて4回の講演
会を計画しています。名付けて
「FUJIGAOKA de CULTURE LIFE (フ
ジガオカ de カルチャー ライ
フ)」。今回は、第一回、第二回講演
会をご案内します。

第一回は5月20日(日)に、日本

福音ルーテル藤が丘教会前牧師であ
る小副川幸孝先生をお迎えします。
現在先生は、熊本の九州学院の副学
長、そしてチャプレンとして働かれ
ています。5月20日は、10時半から
の礼拝でも、説教をしてくださいま
す。説教題は「真理の霊」。こちら
もお楽しみに！

■コース 1-A
キリスト教の面白さを知る
5月20日(日) 12時半～14時
「良寛さんとキリスト教」
講師 小副川幸孝氏
(九州学院副学長・チャプレン)



■コース 2-A
自分らしく生きるための人間関係とは
6月10日(日) 12時半～14時
「ストレスをためない関係性」
講師 鈴木秀子氏
(聖心女子大学教授)



フジガオカ de カルチャーライフ

伝道支援金に基づく講演
会第二回は、鈴木秀子先生
による講演です。鈴木先生
は聖心女子大学で研究・教
育に携わる一方、人として
の在り方や人間関係につい
ての講演・執筆活動をされ
ています。シスターである

先生の、キリスト教信仰に基づいた人間観と、
その穏やかな優しい語り口は、宗教や年代を超
えて多くの人々の心を捉えています。
尚、参加には事前申し込みが必要となります。
下記メールアドレスに、コース名・住所・氏名・
連絡先を明記の上お申し込み下さい。定員(70名)
になり次第締め切らせていただきます。
申し込み先 e-mail: tadao6123t@gmail.com
お問い合わせは、日本福音ルーテル藤が丘教
会 (045-973-2729) まで。

■おめでとう
ございます

今年のイースター礼拝で、○池久
○子さん(教保 ○山○子さん)が
洗礼を受けられました。また、○島
○子さんが転入されました。どうぞ、
よき交わりに加えてください。



○島○子さん



○池久○子さん

■教会ピクニック

恒例の教会ピクニックは、4月30日(月)に横浜市中区の青少年野外活動センターにて開催されました。報告は次号掲載予定です。今号では、写真での報告とさせていただきます。



■教会の動向

■4月の教会

1日は、イースター礼拝でした。○池久○子さんの洗礼式、○島○子さんの転入式がありました。礼拝後祝会をいたしました。4日は聖研がありました。8日の礼拝にて、CS教師就任式がありました。礼拝後定例役員会がありました。10日、横浜墓地運営委員会がありました。11日は、お仕事会がありました。15日の礼拝後、女性会、伝道支援金委員会がありました。また15日より横浜墓地にて墓前礼拝がありました。18



開催されます！お誘いください。
5月15日(火) 13時から15時

第1回 子育てわいわい ワークショップ

子育て中のお母さん、お子さんのため
あるいはご自身のためにオリジナルの
バックや小物入れなどを作ってみませんか？

ワイワイおしゃべりしながら、
日ごろのストレスも解消しましょう。

日時 2018年5月15日(火) 13時 - 15時
場所 日本福音ルーテル藤が丘教会
持ち物 お子さんの飲み物とおやつ
(必要に応じてご持参ください)
費用 (生地を持参される方) 200円
(生地を持参できない方) 500円

日、聖研がありました。19日、佐藤牧師は信徒訪問をいたしました。22日、礼拝後、ピクニック委員会がありました。29日、礼拝後、宣教委員会がありました。30日は、上記の通りピクニックが開催され、たいへん楽しい一日を過ごしました。
このほか、洗礼後の学び、2組の洗礼準備会を随時、実施しています。お祈りください。
礼拝に初めてのお越しは、○本成○さん、○子さん、理○さん、○田クニ○さん、○照さん、○川○紀さん、○場理○さん、梨○さんでした。主の祝福をお祈りします。